

2003 年度第 9 回 関東支部環境工学専門研究委員会議事録（案）

記録：小瀬

1. 日時：2004 年 3 月 19 日（金）18:00～19:15

2. 場所：建築会館 305 会議室

3. 出席者：（以下敬称略、順不同）

小瀬（東洋大学）、堀（建築研究所）、太田（横浜国立大学）、近藤（神奈川大学）、酒井（三井住友建設）、原（早稲田大学）、日渡（電源開発）、村上（芝浦工業大学）

4. 提出資料

9-1 第 9 回議事次第、勉強会テーマ、臨時委員会議事録、第 8 回議事録、自己点検、特別研究委員会活動計画（案）（小瀬）

9-2 2004 年度関東支部環境工学専門研究委員会名簿（事務局）

9-3 関東支部研究発表会若手優秀研究報告賞一覧（事務局）

4. 審議事項

1) 前回議事録の確認（小瀬）

2) 関東支部研究発表会の報告とお礼

- ・ 若手優秀研究報告賞は、1 日目午前の 2 セッションと 2 日目の午前、午後のセッションの 4 区分から最高得点の講演者を 1 名ずつ推薦。その他、甲乙つけがたい学生を 1 名推薦。計 5 名を推薦した。

3) 次年度委員の確認

- ・ 委員会名簿と現委員の整合性が取れていない。今年度委員となった太田委員、鍵委員、望月委員が加えられていない。また、谷合委員が入っていない。次年度副査は吉田委員が担当。大塚委員は南裕介氏、中村委員は黒木友裕氏に交代。上記を含めた名簿の変更・訂正は堀主査を通して事務局へ通知する。

4) 今年度の反省と来年度に向けての課題

- ・ 各委員の目的意識を高めることが出席率の向上にもつながるので、主査の負担を軽減させるためにも、行事などの企画について担当者制をはっきりさせる。
- ・ 非公開勉強会で委員会を活性化させるために、発表を委員に限定せず学生の発表の場を設けたり外部講師を招いて講演してもらうことも検討する必要がある。また、委員の知り合いを積極的に勉強会に参加してもらうようにする。
- ・ 堀次期主査より、次年度はみんなが参加したい委員会となるようにしていきたい、仕事の分担について協力をお願いしたい旨の発言があった。
- ・ 環境工学本委員会について、これまで岩本元主査がそのまま代表として出席していたが、次年度より堀次期主査が委員として出席することになった。

5) 特別研究委員会活動計画 (案)

- ・ 主となる委員会として環境工学専門研究委員会が関わるため、各委員に協力をお願いする。昨年度の出席状況などをふまえ、委員候補者として小瀬 (主査)、秋元、太田、織田、鍵、近藤、酒井、戸倉、中島、西村、原、日渡、堀、村上、望月、横尾、吉田の各氏を明記。ただし、「関東圏の都市環境問題改善調査」のテーマにふさわしい方を推薦していただければ交代または追加できるものとする。
- ・ 副査については未定。小瀬から個人的に打診する。
- ・ WG を設置して、委員会は幹事会という位置づけで行ったほうがよいという意見があった。
- ・ 他の専門研究委員会 (材料・施工、歴史・意匠、建築計画、都市計画) の委員選出、本研究委員会との日程調整などもあるので、第 1 回の委員会開催を 5 月中旬ごろに予定して日程調整する。夏休み前に活動方針を定める。

次回 「2004 年度 第 1 回 関東支部環境工学専門研究委員会」

日時：2004 年 4 月 22 日 (木) 18:00～20:00

場所：建築会館会議室

以上